

がん研有明病院 移転 10 周年記念
ホスピタルコンサート

いにしえ しら
『古の調べ』

日本の伝統文化
奈良時代から 1300 年続く樂家
東儀家の雅楽コンサート



(笙) 東儀九十九



(龍笛) 東儀雅美

【日時】2015 年 5 月 21 日(木)17:00～17:40

【場所】がん研有明病院1階ホスピタルストリート



がん研 有明移転 10th Anniversary



【演奏曲】

- 1) 舞楽 蘭陵王 (らんりょうおう)
- 2) 調子 (ちょうし) 笙による独奏
- 3) 越天楽 (えてんらく)
- 雅楽のお話 -
- 4) 越天楽幻想曲 (東儀秀樹 編曲)
- 5) ジュピター (ホルスト 作曲、東儀秀樹 編曲)
- 6) 星が見ている (東儀秀樹 作曲)



【演奏者プロフィール】

東儀九十九 (とうぎ つくも) [笙]

奈良時代から今日まで1300年間雅楽を世襲してきた
樂家である東儀家に生まれ、笙を元宮内庁楽長である
故菌広晴、及び故多忠麿に師事。

商社マンの夫と共にタイ、メキシコ、米国などでの
海外生活を12年送る。

和洋裁は舞台衣装や直垂装束の製作をこなすほどの
腕前。東儀雅美、東儀秀樹の母。

東儀雅美 (とうぎ まさみ) [龍笛]

代々雅楽を司る家に生まれ、商社勤務の父の仕事の
関係で幼少期をタイとメキシコで過ごす。大学卒業後
ロータリー財団奨学生として米国大学院に留学。

龍笛を元宮内庁楽師の芝祐靖に師事。


弟、母と共に日本国内及び海外演奏活動に参加し、
日本文化の紹介を勤める。

趣味は漆工芸が好きで面や笛を製作、自作を舞台で
使うなど、現在(株)アルビオン国際事業部に勤務。

がん研ボランティアシンボルマークのご紹介



がん研ボランティアシンボルマーク

がん研究会のかにのシンボルマーク  に因み、かにはさみが
ボランティア (Volunteer) のVマークを象り、2つのかにはさみは
手と手を取り合い、助け合いをイメージしたマークです。

ホスピタルコンサートのご報告



有明移転 10 周年を記念し、奈良時代より 1300 年続く雅楽の名家・東儀家より東儀九十九さんと東儀雅美さんをお迎えしました。雅美さんの舞によりコンサートが始まりましたが、舞台衣装に仮面を着けて登場された雅美さんの姿に、会場の皆さんも大変驚いていました。その後、神前式などで流れる越天楽や、東儀秀樹さんが編曲された曲もたくさん聴かせていただきました。合間のお話では、楽器や音について様々なお話をしてくださり、患者さんも楽しそうにお話を聴かれています。また、アンコールで演奏して頂いた「ふるさと」では、歌を口ずさんでいる方や涙を流して聴いている方もいて、会場全体が温かな感動に包まれていました。雅楽という日本伝統の音楽を聴くことができ、患者さんはもちろんのこと私たち職員にとっても大変貴重な経験となりました。東儀九十九さん、雅美さん、本当にありがとうございました。